

コロナ禍での自然体験活動

～特に、サポートが必要なご家庭
子どもたちへの自然体験活動～

NPO法人 トチギ環境未来基地

理事長 塚本 竜也



荒れた里山が増加



地域の人たちに教わり
ながら、
地域の人たちと一緒に







竹林 4. Oha

里山の整備

地元の人たちの
やりたいことを
一緒に







コロナ
以前は

年間 1,500人 ~ 2,000人 のボランティアが、
里山で汗を流す





子ども達と森で

国土緑化推進機構のガイドライン

<http://www.green.or.jp/topics/koronataisakudouga/>



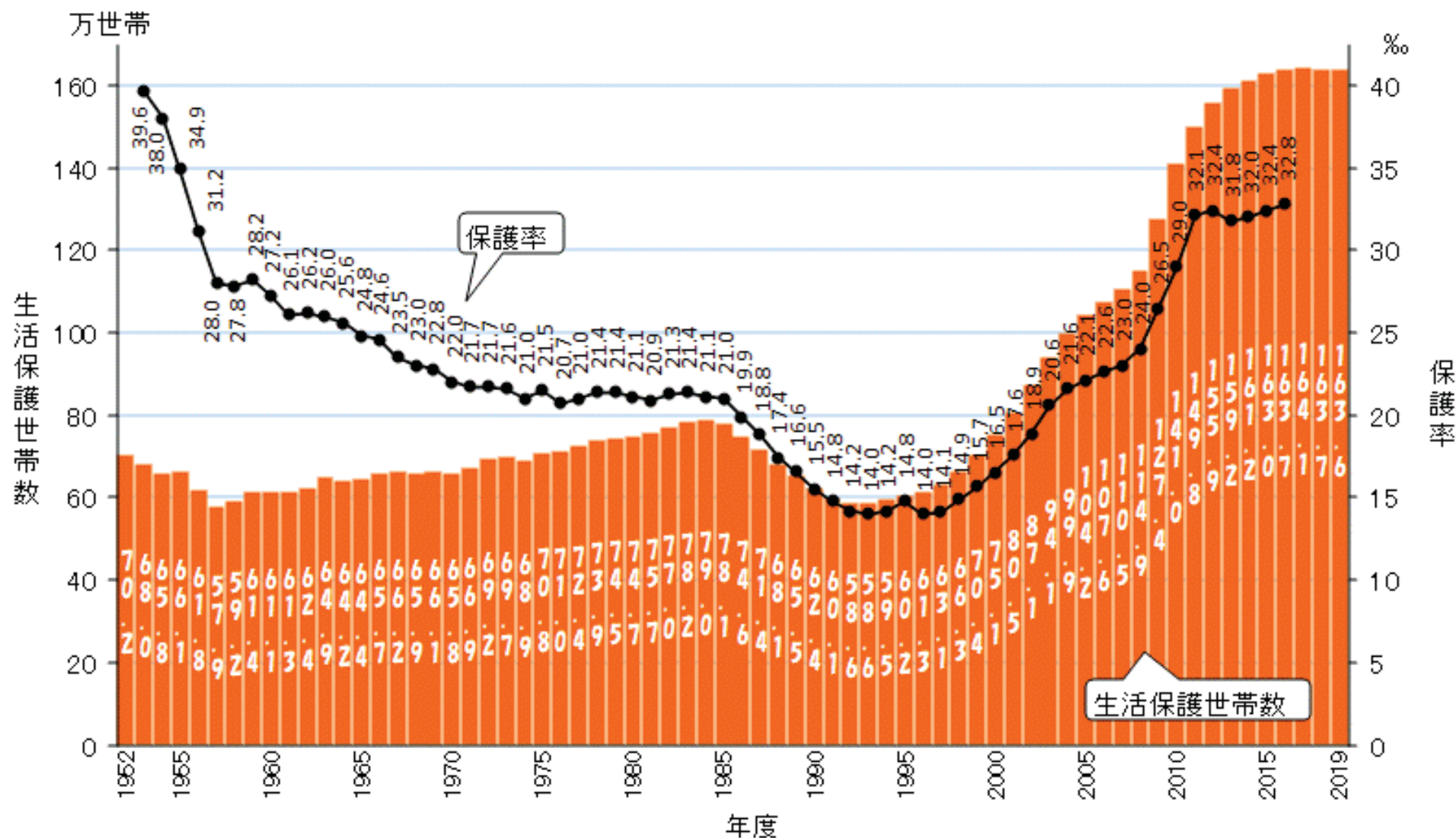
全ての子どもたちに自然と親しみ、楽しむ機会をつくりたい

しかしながら・・・

広がる貧困の影響
コロナ禍での加速も懸念

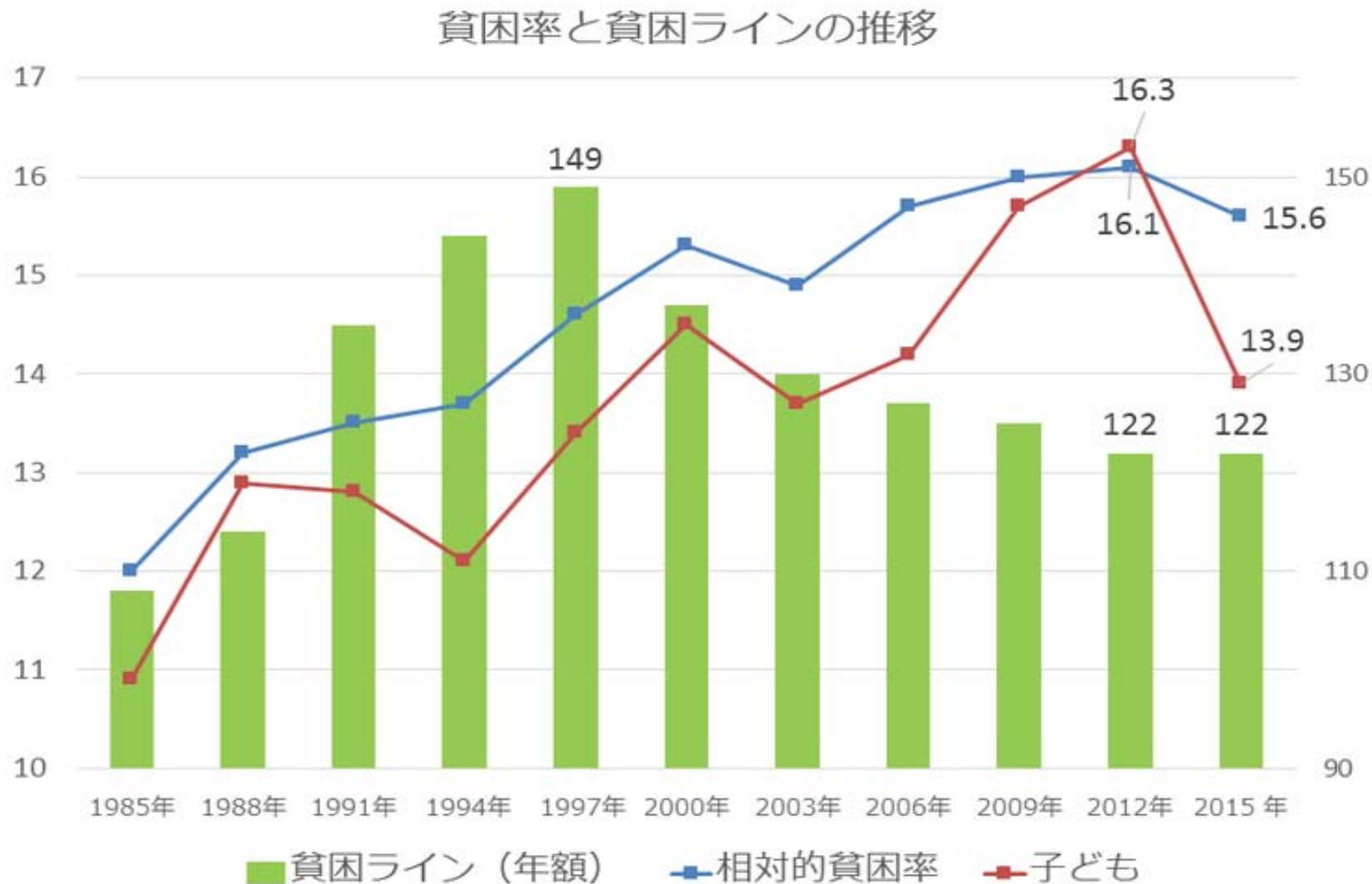
生活保護世帯数

生活保護世帯数と保護率の推移

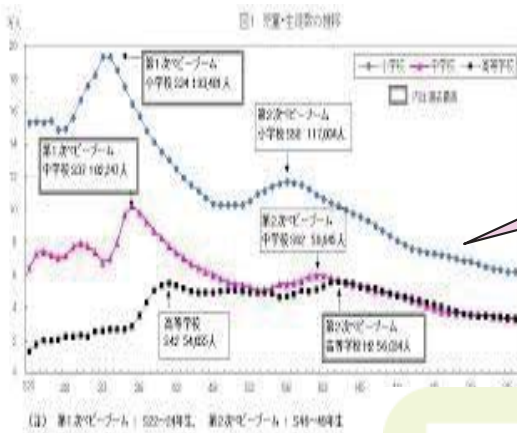


(注) 年度の1か月平均。保護率は社人研「生活保護」公的統計データ一覧」。2019年度は概数
 (資料) 厚生労働省「被保護者調査」(前「社会福祉行政業務報告(福祉行政報告例)」)

貧困率と貧困ラインの推移



子どもの貧困率とは？・・・相対的貧困率をベースにしている。
世帯所得中央値（414万円（平成25年国税庁））の半分を下回る世帯で暮らす
十八歳未満の割合 ⇒ 7人に1人

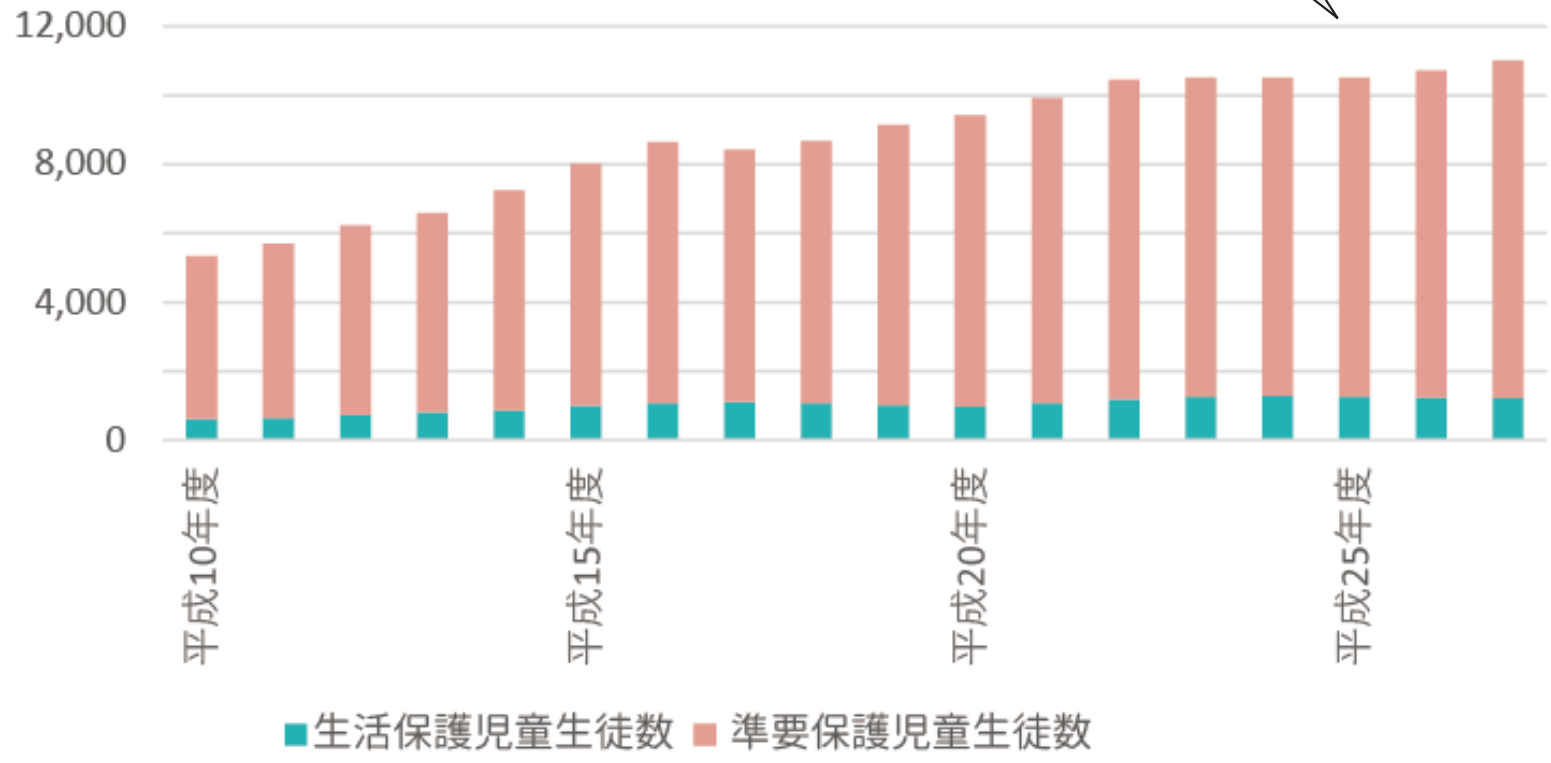


子どもの数は減っているのに

就学援助を受ける児童生徒は増加

**子どもの貧困が
蔓延している証拠**

生活保護など経済的理由により就学が困難な児童生徒に対する、学用品代や給食費などの援助を受ける児童 (栃木県)



要保護及び準要保護児童生徒数 (各都道府県) 文部科学省初等中等教育局財務課より

	人口 構成比	貧困率	貧困層 構成比
両親と子のみ世帯	63.2%	11.0%	50.0%
三世帯世帯	28.5%	11.0%	23.0%
母子世帯	4.1%	66.0%	19.1%
父子世帯	0.6%	19.0%	1.0%
高齢者世帯	0.1%	NA	NA
その他世帯	3.4%	29.0%	7.0%

阿部彩「子どもの貧困」より

母子世帯の就業率は80.6%と世界的にも高い（米74%、英56%）
平成25年所得は243万（就労所得は179万）で全世帯の45%
正社員比率は53%（1999年）から39%（2011年）に減少

宇都宮市

子どもの貧困率

11.9%

8人に1人が貧困状態

ひとり親家庭の貧困率(2016)

43.0%

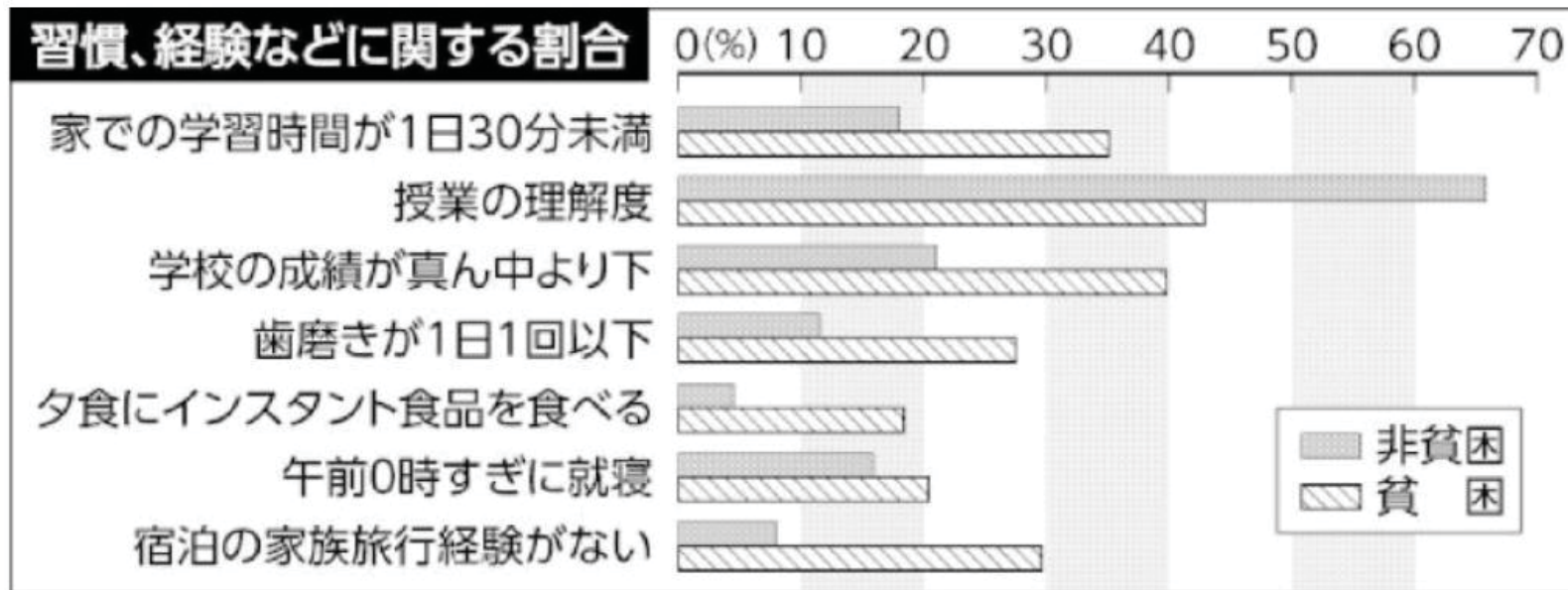
例えば・・・

- 塾に通わせることができない
- 食事を我慢する日がある
- 困ったときに頼れる人がいない
- 夏休みだけどこにも連れていけない

子どもの貧困は
外から見えにくい

さらに子育て家庭に関する実態調査を実施

⇒生活習慣や経験の有無を貧困と関連付け、数値化



子どもの貧困がもたらす影響は

学力の格差だけでなく、**経験の格差**にも及び、
さらには子どもの**自己肯定感を下げる**

栃木県内の多くの
小中学校の休校期間

3月2日～5月31日

キッズハウス・いろどり(宇都宮市)



子ども／保護者への休校の影響アンケート

- ・日中家でずっとひとりぼっち
- ・給食がないのでご飯がない
- ・家にずっといて、子どもがスマホばかり。ストレス
- ・兄弟げんかばかりしている
- ・親子関係が悪化、子どもに手をだしてしまいそう

● 学校は休校になったり、在宅勤務が推奨されたりしたが、実際には在宅勤務はなく、通常勤務であり、学童の利用自粛要請に対応できなかったこと。また、仕事に大きな影響があり、生活面で金銭的に大きな打撃を受けたこと。

● 子どもの預け先が休みになってしまい、仕事を休まなくてはならなかった。家に居るとどうしてもゲームなどしてしまい身体に良くない。

● 真岡市は幼稚園が学童の場所で、その幼稚園に通ってないと、学童に入れず仕事を自ら休まないと行けず、、、パートとは言っても、給料が減った為大変でした。

● 子どもと一日中、家の中でずっと過ごすこと自由に外へ出られない、子どもがカラダを動かせる場所が限られていたこと3食、用意するのが大変だったこと

● 1番大変だったのは子ども3人が毎日ケンカや大騒ぎをして、それをなだめたり、おさめたりすることに毎回心が振り回されて、疲れてしまったことでした。

- ・外出自粛による子どものストレス(外で遊べない、お友達と遊べない) に対応する
 - ・ 買い物に行けない(行っても子連れは白い目で見られる、買い占めなどにより買いたい物が買えない)
 - ・ 3食分の食費がかさみ、お金がどんどん無くなっていく

今年度の取り組み コロナで休校時の対応

コロナウイルスの影響により休校

行き場のない子どもたち、

(仕事があるのに)子どもの預け先のない親御さんをサポート

森でリフレッシュプログラム

【参加者募集中!】

森でリフレッシュDay

※熟慮のうえ、開催することといたしました。お困りの事情のあるご家庭優先の緊急的活動としての位置づけです。

※このプログラムは、コロナウイルスの影響による4/9~22の小中学校休校への対応として実施します。



休校期間中の子どもたちの居場所と遊びを森で支える



コロナ感染拡大に最大限気をつけながら子どもたちを森で預かって遊ぶ

3月中旬から5月末まで

18回実施 小規模各回6-8人 9:00-16:00

延べ128人の子どもが参加

アンケート 役に立てたか

●異年齢の子達と、大好きな森や自然でたくさん遊べた事は子どもの精神面、身体面でかなり良い影響があった。

●子供は、ものすごく、リフレッシュ出来て、楽しめました。本当に感謝です。次の時に秘密基地作りの続きをする！っと言っています。

●とても助かりました この状況下ではこどもたちの笑顔がなによりの喜びでした

●とても役立ちました！外で自由に遊べて、いろんな子たちとすぐに友達になれて、ご飯を作ったり、スタッフの方々とも接することができて子どもも親もリフレッシュできました！

●とても助かりました！お昼も自分たちで作る体験をさせてもらったこと、自然に触れて遊べたことで気分転換になり、次の日は落ち着いて過ごせたりしていました。何より本人がとても楽しんでいたことも大きかったです。

●今回のプログラムには、本当に救われました。子どもも親もたくさんストレスを感じていたので、お互いに良い気分転換になりました。

企業との連携でも

東京海上日動様 Green Gift プログラム

協力 日本NPOセンター／関東EPO

🌲 「わたねの森」 楽しい里山、おいしい畑プログラム 🌲

わたねの森の、楽しい里山とおいしい畑でリフレッシュ 先着 15名
2020. 9. 26 (土) 13:00-15:30 参加費 無料

集合 市貝町北運動場駐車場 (芳賀郡市貝町大字田野辺 1325)

さと山

🌲 里山の宝探し
🌲 里山クラフト

わたねの森に眠る宝を見つけ出そう
里山の木を使ってオリジナルキーホルダー、壁掛けを作ろう

はたけ

🌱 有機農業のやさしい畑で、野菜の収穫
サツマイモ、かぼちゃなど

ree
GREEN
GIFT
Welcome

わたねの森

野菜づくりは、
わたねさんと一緒に

オリジナルキーホルダー

竹のソー

コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、イベントを実施します。
対策の詳細については裏面をご参照ください。

主催 NPO 法人トチギ環境未来基地
共催 認定特定非営利活動法人日本 NPO センター
協力 関東環境パートナーシップオフィス、
キッズハウスいろどり、わたね
協賛 東京海上日動火災保険株式会社
後援 環境省

自然とともに、
自分らしく。

Green Gift

